

USB-DACモジュール(PS-3249R) 機能拡張時に必要な市販部品など

拡張内容	必要な部品	仕様	数量	備考
USBバスパワーをセルフパワーにする	抵抗	・1Mオーム	1	ピッチ感10mmに取付可能なリードタイプのもの。1/8W程度で可。
	3端子レギュレータ	・3.3V出力 ・電流容量100mA程度	1	78L33などが使用可能。
		・5V出力のもの ・電流容量100mA程度	1	78L05などが使用可能。
	セラミックコンデンサ	・0.1 μ F	2	端子間ピッチ3.5mmがちょうどよいサイズ。
	電解コンデンサ	・33 μ F ・耐圧10V以上	2	ボディーサイズ ϕ 5mmがちょうどよいサイズ。
	外部電源	・ACアダプターなど	1	SELF DC-IN端子に電圧は使用する3端子レギュレータにより異なるが、9V程度あればOK。 電流容量は100mA程度取れるもの。
外部クロックを使用する	クロックデバイス	・発振周波数12MHz ・電源電圧が3.3Vで動作するもの	1	クロックデバイスに周辺回路が必要な場合があります。 クロックデバイスの仕様書などを参照して下さい。
	3端子レギュレータ※	・3.3V出力 ・電流容量100mA程度	1	USBバスパワーで使用する場合はLDOタイプを使用すること。 セルフパワーの場合は78L33などの標準タイプでOK。
	セラミックコンデンサ※	・0.1 μ F	1	端子間ピッチ3.5mmがちょうどよいサイズ。
	電解コンデンサ※	・33 μ F ・耐圧10V以上	1	ボディーサイズ ϕ 5mmがちょうどよいサイズ。
	※クロックデバイスに電源を供給する必要がない場合、※印の部品は不要です。			
デジタル出力を使用する	デジタル出力を使用する場合、出力形式により「バッファ回路」や「光変換回路」などが必要です。 これらの回路はそれぞれの回路により構成が異なりますので、必要な部品、回路構成などはご自分でお調べください。 当社ではサポートいたしかねます。あしからずご了承ください。			
	3端子レギュレータ※	・3.3V出力 ・電流容量100mA程度	1	USBバスパワーで使用する場合はLDOタイプを使用すること。 セルフパワーの場合は78L33などの標準タイプでOK。
	セラミックコンデンサ※	・0.1 μ F	1	端子間ピッチ3.5mmがちょうどよいサイズ。
	電解コンデンサ※	・33 μ F ・耐圧10V以上	1	ボディーサイズ ϕ 5mmがちょうどよいサイズ。
	※デジタル出力接続する回路への電源供給を本機の3.3V端子から供給する場合に※印の部品が必要です。			
アナログ出力をLINE-OUT端子から取り出す	ステレオミニジャックやピンジャックなど		1	接続するアンプなどの機器に合わせて選びましょう。
USBコネクタを変更する	USB タイプBコネクタなど		1	本機のEX-USB端子に接続して使用します。
PCL86シングルステレオパワーアンプキット (TU-8100)に組み込む	TU-8100		1	組み込み方は、資料「TU-8100へ組み込もう.pdf」を参照して下さい。
	2芯シールド線	17cmくらい	1	